



2015年3月期 決算説明会

富士重工業株式会社

取締役専務執行役員CFO 高橋 充

2015年5月8日

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



2015年3月期 決算 サマリー

2015年3月期 実績

- ▶ 北米市場での好調や、レガシィ、レヴォーグ、WRXなどの新型効果により連結販売台数は3年連続で過去最高となる911千台を記録
- ▶ 販売台数の増加に加え、為替レート差、原価低減の進捗により、費用の増加を打ち消し、売上高、各利益ともに3年連続で過去最高を記録

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆8,779億円 (+4,698億円)	4,230億円 (+966億円)	3,936億円 (+792億円)	2,619億円 (+553億円)	910.7千台 (+85.6千台)

2016年3月期 計画

- ▶ 北米を中心とした海外市場での増加を見込み、販売台数は4年連続過去最高となる928千台を計画
- ▶ 将来成長に向けた投資や費用の増加を、売上構成、為替レート、原価低減で打ち消し、売上高、各利益ともに4年連続での過去最高業績を計画

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆300億円 (+1,521億円)	5,030億円 (+800億円)	4,950億円 (+1,014億円)	3,370億円 (+751億円)	928.3千台 (+17.6千台)

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※2016年3月期計画の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」

1

2015年3月期 実績



通期実績 連結完成車販売台数

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
登録車	126.1	127.9	+1.7
軽自動車	55.5	34.9	▲20.6
国内合計	181.6	162.8	▲18.8
米国	441.8	527.6	+85.8
カナダ	36.0	42.4	+6.4
ロシア	15.3	11.6	▲3.8
欧州	31.8	35.7	+4.0
豪州	39.5	38.9	▲0.6
中国	44.8	53.8	+9.0
その他	34.3	37.9	+3.6
海外合計	643.5	747.9	+104.4
合計	825.1	910.7	+85.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月

3

2015年3月期 通期の連結販売台数は、前年比8万5千6百台の増となる、91万7百台となり、3年連続で過去最高を記録しました。

国内では、新たに導入したレヴォーグやWRXの販売が好調に進捗し、登録車の販売は前年比を上回ったものの、軽自動車の落ち込みにより、全体では1万8千8百台の減となる16万2千8百台となりました。

海外では、フルモデルチェンジを行ったレガシィ・アウトバックやWRXに加え、フォレスターも好調な販売を持続し、10万4千4百台の増となる、74万7千9百台となりました。



通期実績 連結業績

(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
売上高	24,081	28,779	+4,698
国内	6,721	6,529	▲192
海外	17,361	22,250	+4,890
営業利益	3,265	4,230	+966
営業外損益	▲121	▲294	▲173
経常利益	3,144	3,936	+792
特別損益	144	▲14	▲159
税前利益	3,289	3,922	+633
当期純利益	2,066	2,619	+553
単独為替レート	¥100/US\$	¥108/US\$	+¥9/US\$

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

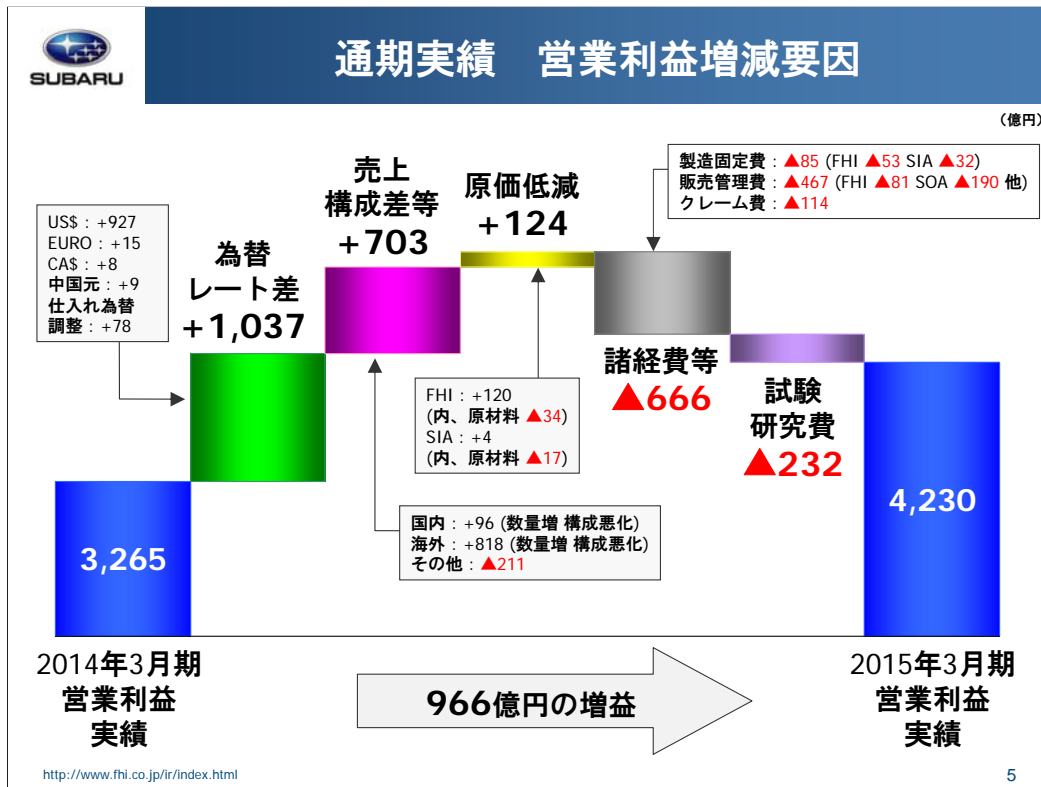
4

売上高、各利益ともに、3年連続で過去最高となりました。

連結売上高は、販売台数増による売上構成差の改善+2,985億円に加え、為替レート差+1,632億円、カンパニー等での売上増加+81億円により、前年同期比4,698億円の増収となる、2兆8,779億円となりました。

営業利益につきましては、販売台数増加による売上構成差の改善や、為替レート差、原価低減の進捗が、諸経費、試験研究費の増加を打ち消し、966億円の増益となる、4,230億円となりました。

経常利益は792億円の増益となる3,936億円、税前利益は633億円の増益となる3,922億円、当期純利益は553億円増益の2,619億円となりました。



前期実績3,265億円から今期実績4,230億円へと、966億円の増益となった、営業利益増減要因です。

増益要因は、

<1>為替レート差で+1,037億円です。ドルは約9円の円安で+927億円です。ユーロは約7円の円安で+15億円、カナダドルは約1円の円安で+8億円です。その他、中国元で+9億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で+78億円となりました。

<2>売上構成差等で+703億円です。

- ①新車国内は+96億円です。新型のレヴォーグ、WRXの好調により登録車の販売が拡大し、前年実績を上回りました。
- ②新車海外は+818億円です。フルモデルチェンジしたレガシィ・アウトバックやWRXの販売が好調に推移したことや、既存のフォレスターが引き続き好調であることから、数量が前年を大きく上回りました。
- ③在庫調整等で-211億円です。

<3>原価低減で+124億円です。

そのうち、富士重工が+120億円、SIAは+4億円です。富士重工では生産台数の増加等により、原価低減が+154億円、原材料・市況等については-34億円となりました。SIAでは原価低減が+21億円、原材料等は-17億円となりました。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-666億円です。

- ①製造固定費の増加により-85億円です。そのうち、富士重工が-53億円、SIAは-32億円です。富士重工では、外製型費の減により+11億円、固定加工費の増加で-64億円です。SIAでは、外製型費の増により-13億円、固定加工費の増により-19億円となりました。
- ②販売管理費の増加で-467億円です。富士重工では、販売奨励金や広告宣伝費は減少したものの、運賃梱包費の増加などがあり、-81億円となりました。国内ディーラーは-8億円、SOAは-190億円、カナダ子会社は-25億円、その他で-163億円となりました。
- ③クレーム費の増で-114億円です。

<5>試験研究費の増加で-232億円です。

以上で、2015年3月期の連結営業利益は、966億円の増益となる、4,230億円となりました。



連結貸借対照表

(億円)

	2014年3月末	2015年3月末	増減
総資産	18,884	21,997	+3,114
流動資産	12,738	14,733	+1,995
固定資産	6,146	7,264	+1,119
有利子負債	2,697	2,112	▲585
純資産合計	7,701	10,307	+2,606
利益剰余金	4,839	6,974	+2,135
自己資本	7,655	10,224	+2,569
自己資本比率	40.5%	46.5%	+6.0
D/Eレシオ	0.35	0.21	▲0.15

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

6

総資産につきましては、2014年3月末から3,114億円の増加となる2兆1,997億円となりました。販売規模拡大による当期純利益の増加や、為替レート差+1,026億円が主因です。有利子負債は585億円の減少となる2,112億円、純資産は2,606億円の増となる1兆307億円となりました。自己資本比率は46.5%、D/Eレシオは0.21となっています。



通期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
営業活動CF	3,130	3,115	▲15
投資活動CF	▲339	▲1,728	▲1,389
フリーCF	2,791	1,388	▲1,404
財務活動CF	▲630	▲1,105	▲475
換算差額	127	260	+133
手元資金増減	2,288	542	▲1,746
連結範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増減額	1	-	▲1
手元資金合計	5,579	6,121	-

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

7

営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払い1,931億円などがありましたが、税前純利益3,922億円の計上などから、3,115億円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュフローは、生産能力増強に伴う投資活動があったことから、1,728億円のキャッシュアウトとなりました。

フリーキャッシュフローは、1,388億円です。

財務活動によるキャッシュフローは借入金の返済や、配当の支払い、社債償還などにより、1,105億円のキャッシュアウトとなりました。



通期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
売上高	11,005	13,393	+2,388
営業利益	184	490	+306
当期純利益	111	309	+198
小売販売台数(千台)	442.3	530.5	+88.2

SIA	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
売上高	3,848	4,770	+922
営業利益	265	108	▲157
当期純利益	167	70	▲97
スバル生産台数(千台)	163.5	206.7	+43.2

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

8

SOAの小売販売は、新型レガシィ、アウトバック、及び、フォレスターとXVが好調な販売を継続し、対前年8万8千2百台増の53万5百台となりました。

売上高については、\$2,388Mの増収となる\$13,393Mとなりました。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$495M、販管費の増-\$189Mにより、\$306Mの増益となる\$490Mとなりました。

SIAの売上高は、対前年+\$922Mの\$4,770Mとなりました。

営業損益は、数量価格構成差-\$128M、原価低減活動+\$4M、固定費増-\$33Mにより、対前年-\$157Mとなる\$108Mとなりました。

2016年3月期 見通し



通期計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
登録車	127.9	106.7	▲21.2
軽自動車	34.9	37.6	+2.7
国内合計	162.8	144.2	▲18.5
米国	527.6	554.0	+26.4
カナダ	42.4	46.2	+3.8
ロシア	11.6	12.8	+1.2
欧州	35.7	37.7	+2.0
豪州	38.9	42.3	+3.4
中国	53.8	49.7	▲4.1
その他	37.9	41.4	+3.5
海外合計	747.9	784.1	+36.2
合計	910.7	928.3	+17.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～12月 10

2016年3月期のグローバルの連結販売台数は、4年連続で過去最高記録となる92万8千3百台を計画しています。

国内では、新型効果が一巡し販売が落ち着くことを見込み、前年同期比1万8千5百台の減となる14万4千2百台を計画しています。

海外では、米国を中心に販売の拡大を見込み、前年同期比3万6千2百台の増となる78万4千(1)百台を計画しています。



通期計画 連結業績

(億円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	28,779	30,300	+1,521
国内	6,529	5,655	▲874
海外	22,250	24,645	+2,395
営業利益	4,230	5,030	+800
経常利益	3,936	4,950	+1,014
税前利益	3,922	4,850	+928
当期純利益	2,619	3,370	+751
単独為替レート	¥108/US\$	¥118/US\$	+¥10/US\$

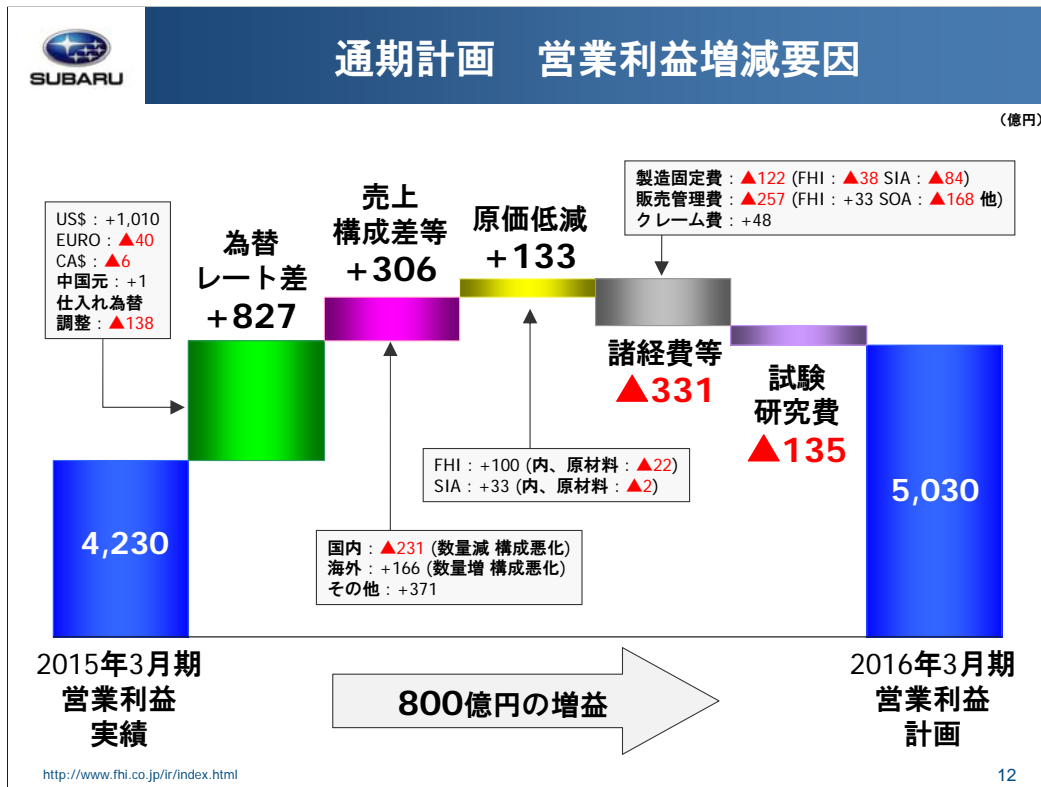
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※2016年3月期計画の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」 11

連結業績計画は、売上高、すべての利益段階で、4年連続での過去最高記録を計画しています。売上高につきましては、海外での販売台数増加による売上構成差の改善190億円、カンパニー等での売上増加20億円、為替レート差1,311億円により、前年同期比1,521億円の増収となる、3兆300億円を計画します。

営業利益につきましては、為替レート差、売上構成差の改善、原価低減の進捗により、諸経費、試験研究費の増加を打ち消し、800億円の増益となる、5,030億円を計画します。

経常利益は1,014億円の増益となる 4,950億円、税前利益は928億円の増益となる 4,850億円、当期純利益は751億円増益の3,370億円を計画しています。



前期実績 4,230億円から、今期計画 5,030億円へと、800億円の増益となる営業利益の増減要因です。増益要因は、

<1>為替レート差で+827億円です。米ドルは約10円の円安で+1,010億円です。ユーロは約15円の円高で-40億円、カナダドルは約1円の円高で-6億円です。その他、中国元で+1億円、富士重工と海外子会社の仕入れ為替調整で-138億円を計画しています。

<2>売上構成差等で+306億円です。

①新車国内は-231億円です。

優遇税制変更前の駆け込み需要の反動、新型効果の一巡により販売台数は前年を下回る計画です。

②新車海外は+166億円です。

好調を維持している北米市場を中心に、販売拡大を見込んでおります。

③在庫調整等で+371億円です。

<3>原価低減で+133億円です。そのうち、富士重工が+100億円、SIAは+33億円です。

富士重工では、原価低減が+122億円、原材料・市況等については-22億円を見込みます。SIAでは原価低減が+35億円、原材料等は-2億円です。

一方、減益要因は、

<4>諸経費等の増で-331億円です。

①製造固定費の増加により-122億円です。そのうち、富士重工が-38億円、SIAは-84億円です。

富士重工では、外製型費の増により-54億円、固定加工費は減少し+16億円です。SIAでは、外製型費の増により-14億円、固定加工費も増加し-70億円です。

②販売管理費の増加で-257億円です。

富士重工で+33億円、国内ディーラーで+7億円、SOAで-168億円、カナダ子会社で-14億円、その他で-116億円を計画しています。

③クレーム費の減で+48億円です。

<5>試験研究費の増加で-135億円です。

以上で、2016年3月期の通期営業利益は、800億円の増益となる、5,030億円を計画しています。



通期計画 海外子会社業績

(Million US\$)

SOA	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	13,393	14,265	+872
営業利益	490	500	+10
当期純利益	309	299	▲10
小売販売台数(千台)	530.5	546.7	+16.2

SIA	2015年3月期 実績	2016年3月期 計画	増減
売上高	4,770	5,233	+463
営業利益	108	129	+21
当期純利益	70	73	+3
スバル生産台数(千台)	206.7	227.5	+20.8

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

13

SOAの通期小売販売は、新型のレガシィ・アウトバックだけでなく、既存車種の販売モメンタムを維持し、対前年1万6千2百台増の54万6千7百台を目指します。

売上高は対前年+\$872Mの\$14,265Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$163M、販管費の増-\$153Mにより、対前年+\$10Mの\$500Mを計画します。

SIAの売上高は、前年に対し+\$463Mの\$5,233Mを見込みます。

営業損益は、数量価格構成差+\$70M、原価低減活動+\$28M、固定費増-\$77Mにより、対前年+\$21Mとなる\$129Mを見込みます。



設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債

(億円)

	2014年3月期 通期 実績	2015年3月期 通期実績 (a)	2016年3月期 通期 計画 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	685	1,107	1,300	+193
減価償却費	549	648	670	+22
試験研究費	601	835	970	+135
有利子負債	2,697	2,112	1,800	▲312

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

14

2016年3月期の設備投資につきましては、前年同期比193億円の増となる、1,300億円を計画しています。

減価償却費は22億円の増で670億円、試験研究費は将来商品に向けた取り組みをより一層強化するため、135億円の増となる970億円を計画しています。

有利子負債につきましては、さらなる削減努力を行い、1,800億円を目指します。

ご参考 (1)

- ・ 連結営業外収支 / 特別損益
- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上高
- ・ 単独販売台数
- ・ 第4四半期(3ヶ月)業績
- ・ 通期実績 計画との差
- ・ 通期計画 第2四半期累計計画



通期実績 連結営業外収支 / 特別損益

(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
金融収支	1	12	+11
為替影響	▲95	▲263	▲168
その他	▲27	▲43	▲17
営業外収支	▲121	▲294	▲173
投資有価証券売却益	473	11	▲463
貸倒引当金繰入額	▲296	-	+296
その他	▲33	▲25	+8
特別損益合計	144	▲14	▲159



通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 実績	増減	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 実績	増減
自動車	22,466	26,990	+4,524	3,090	4,009	+919
航空宇宙	1,244	1,428	+184	141	189	+48
産業機器	298	290	▲7	6	8	+1
その他	73	71	▲2	21	19	▲2
消去・全社	/	/	/	6	6	▲0
合計	24,081	28,779	+4,698	3,265	4,230	+966

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

17



通期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 実績	増減	2014年 3月期 実績	2015年 3月期 実績	増減
日本	9,674	9,722	+48	2,823	3,518	+695
北米	12,371	16,250	+3,879	528	909	+381
その他	2,036	2,807	+770	51	140	+88
消去・全社				▲137	▲336	▲199
合計	24,081	28,779	+4,698	3,265	4,230	+966

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

18



通期実績 連結海外売上高

(億円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
北米	13,228	17,309	+4,082
欧州	1,347	1,233	▲114
アジア	1,544	2,387	+844
その他	1,242	1,321	+78
合計	17,361	22,250	+4,890



通期実績 単独販売台数

(千台)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
国内生産	649.9	707.7	+57.8
国内売上	185.8	167.1	▲18.7
登録車	128.1	131.6	+3.5
軽自動車	57.8	35.6	▲22.2
輸出台数	499.2	545.6	+46.4
海外生産用部品	165.6	222.5	+57.0
単独売上合計	850.6	935.3	+84.7

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

20



第4四半期(3ヶ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2014年3月期 4Q 実績	2015年3月期 4Q 実績	増減
登録車	39.3	44.4	+5.1
軽自動車	18.5	12.5	▲5.9
国内合計	57.7	56.9	▲0.8
米国	115.4	128.9	+13.5
カナダ	8.8	10.5	+1.6
ロシア	5.8	0.7	▲5.1
欧州	8.3	12.8	+4.6
豪州	9.9	10.7	+0.8
中国	15.2	13.1	▲2.1
その他	10.5	13.4	+2.8
海外合計	174.0	190.1	+16.2
合計	231.7	247.0	+15.3

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算10～12月 21



第4四半期(3ヶ月)実績 連結業績

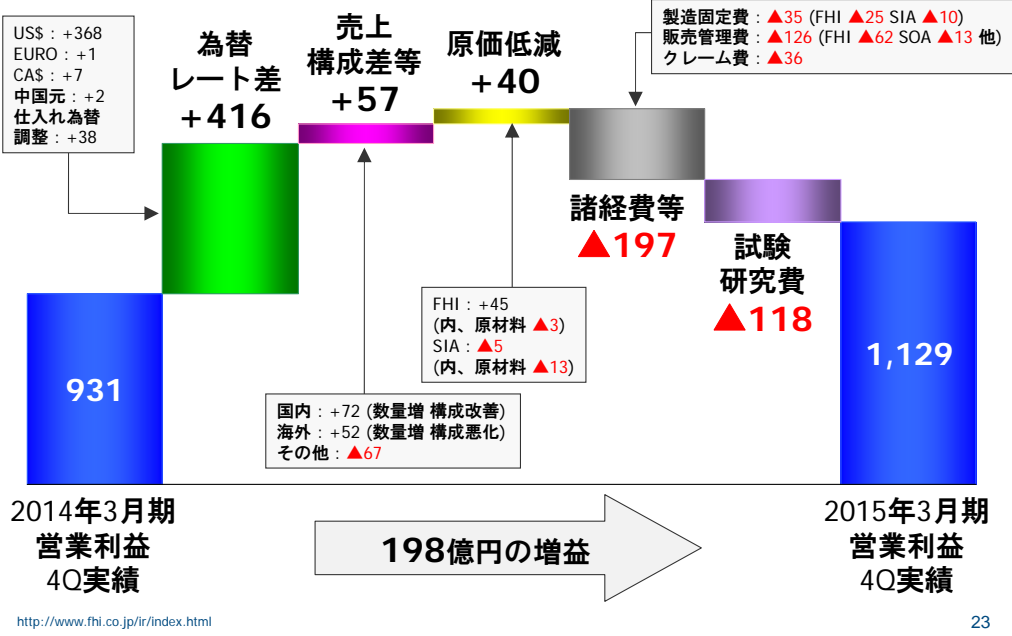
(億円)

	2014年3月期 4Q 実績	2015年3月期 4Q 実績	増減
売上高	6,996	8,172	+1,176
国内	1,933	2,110	+177
海外	5,063	6,062	+998
営業利益	931	1,129	+198
経常利益	930	1,053	+123
税前利益	618	1,055	+438
当期純利益	251	715	+464
単独為替レート	¥103/US\$	¥118/US\$	+¥16/US\$



第4四半期(3ヶ月) 営業利益増減要因

(億円)





通期実績 連結完成車販売台数 計画 vs. 実績

(千台)

	2015年3月期 計画	2015年3月期 実績	増減
登録車	124.3	127.9	+3.6
軽自動車	37.0	34.9	▲2.1
国内合計	161.3	162.8	+1.5
米国	527.3	527.6	+0.4
カナダ	42.2	42.4	+0.2
ロシア	12.6	11.6	▲1.0
欧州	33.8	35.7	+2.0
豪州	38.6	38.9	+0.3
中国	53.8	53.8	±0
その他	36.6	37.9	+1.3
海外合計	744.8	747.9	+3.1
合計	906.1	910.7	+4.6

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1~12月 24



通期実績 連結業績 計画 vs. 実績

(億円)

	2015年3月期 計画	2015年3月期 実績	増減
売上高	28,500	28,779	+279
国内	6,483	6,529	+46
海外	22,017	22,250	+233
営業利益	4,100	4,230	+130
経常利益	3,920	3,936	+16
税前利益	3,840	3,922	+82
当期純利益	2,530	2,619	+89
単独為替レート	¥108/US\$	¥108/US\$	+¥1/US\$

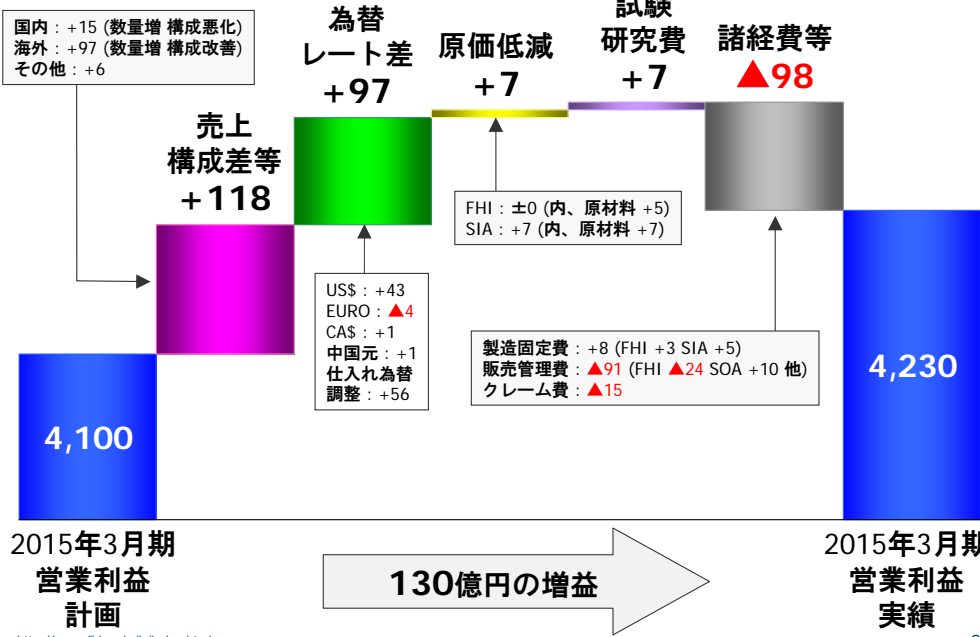
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

25



通期実績 営業利益増減要因 計画 vs. 実績

(億円)





第2四半期累計計画 連結完成車販売台数

(千台)

	2015年3月期 2Q累計 実績	2016年3月期 2Q累計 計画	増減
登録車	56.5	48.5	▲8.0
軽自動車	15.1	18.3	+3.2
国内合計	71.5	66.8	▲4.8
米国	249.9	270.9	+21.0
カナダ	22.1	25.8	+3.8
ロシア	8.6	6.2	▲2.5
欧州	15.6	18.1	+2.5
豪州	19.3	21.9	+2.6
中国	28.7	21.5	▲7.2
その他	15.9	22.4	+6.5
海外合計	360.1	386.8	+26.8
合計	431.6	453.6	+22.0

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※ 中国：暦年決算1～6月 27



第2四半期累計計画 連結業績

(億円)

	2015年3月期 2Q累計 実績	2016年3月期 2Q累計 計画	増減
売上高	13,102	14,750	+1,648
国内	2,928	2,650	▲278
海外	10,174	12,100	+1,925
営業利益	1,857	2,440	+583
経常利益	1,760	2,400	+640
税前利益	1,747	2,350	+603
当期純利益	1,130	1,630	+500
単独為替レート	¥102/US\$	¥118US\$	+¥16/US\$

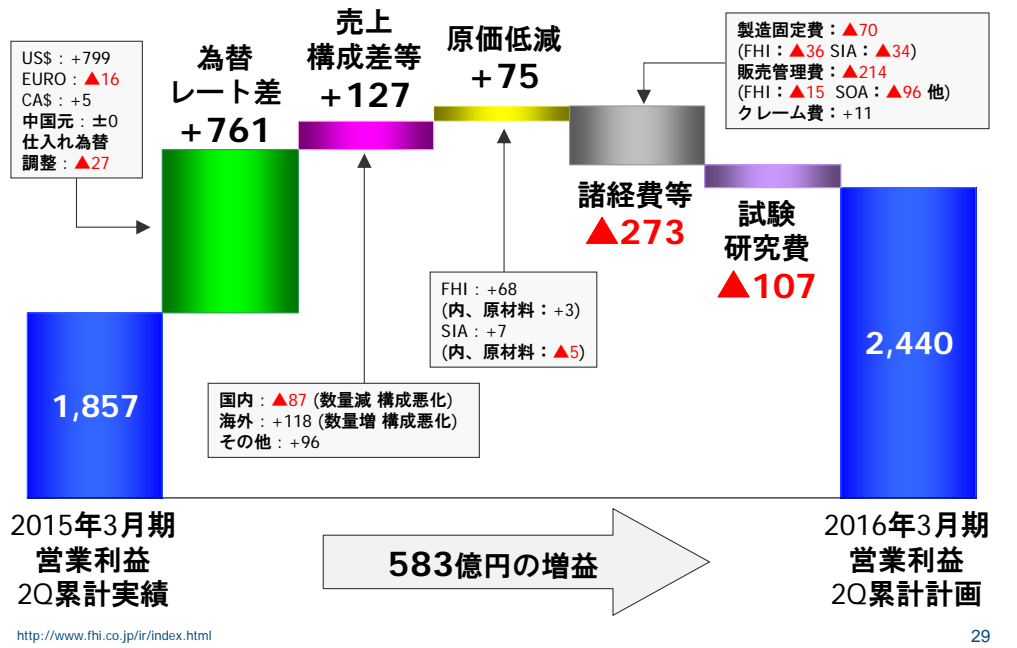
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

※2016年3月期計画の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」 28



第2四半期累計計画 営業利益増減要因

(億円)



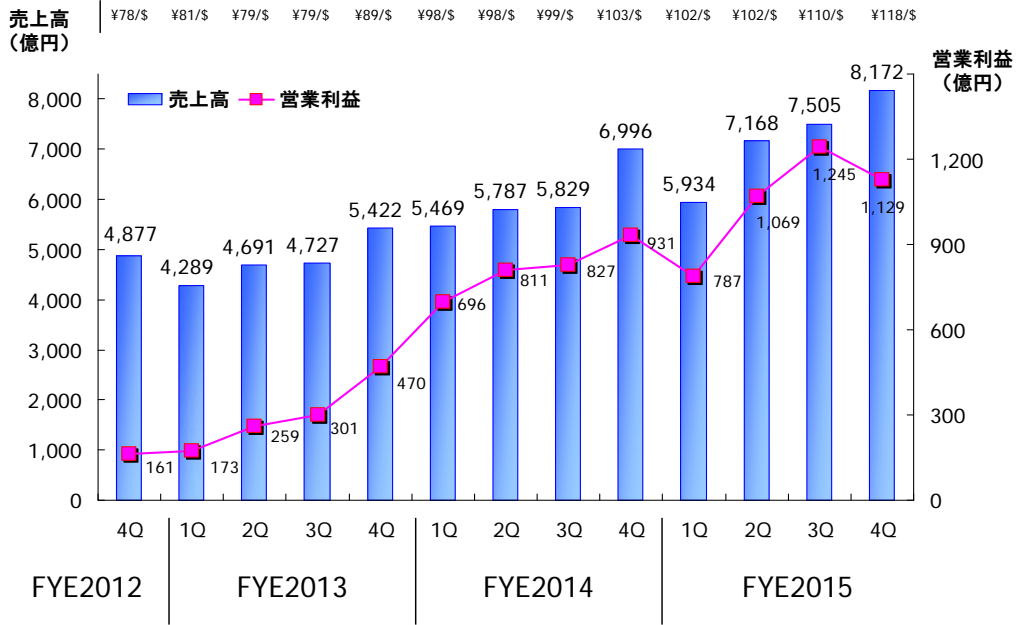
29

ご参考 (2)

- ・売上高 / 営業利益 推移
- ・連結販売台数 / 営業利益率 推移
- ・生産台数 / 小売台数 推移
- ・FCF / 自己資本比率 推移
- ・有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- ・主な広報発表案件



売上高 / 営業利益 推移

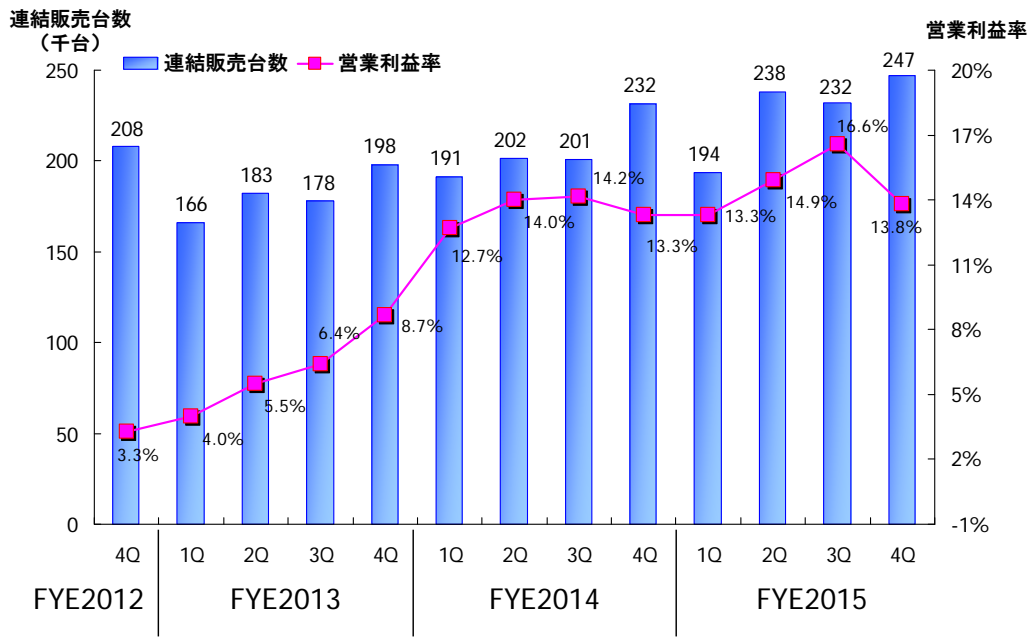


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

31



連結販売台数 / 営業利益率 推移



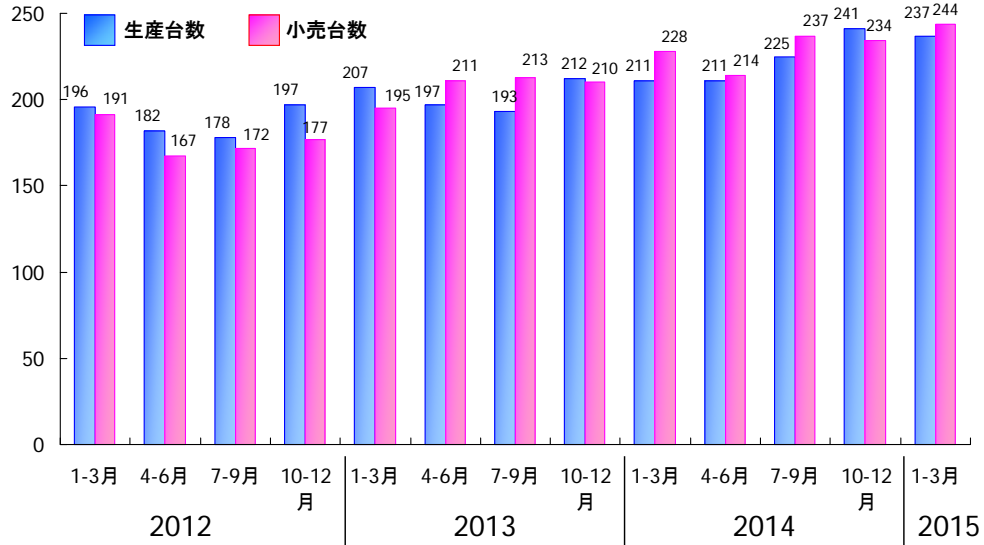
<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

32



生産台数 / 小売台数 推移

(千台)



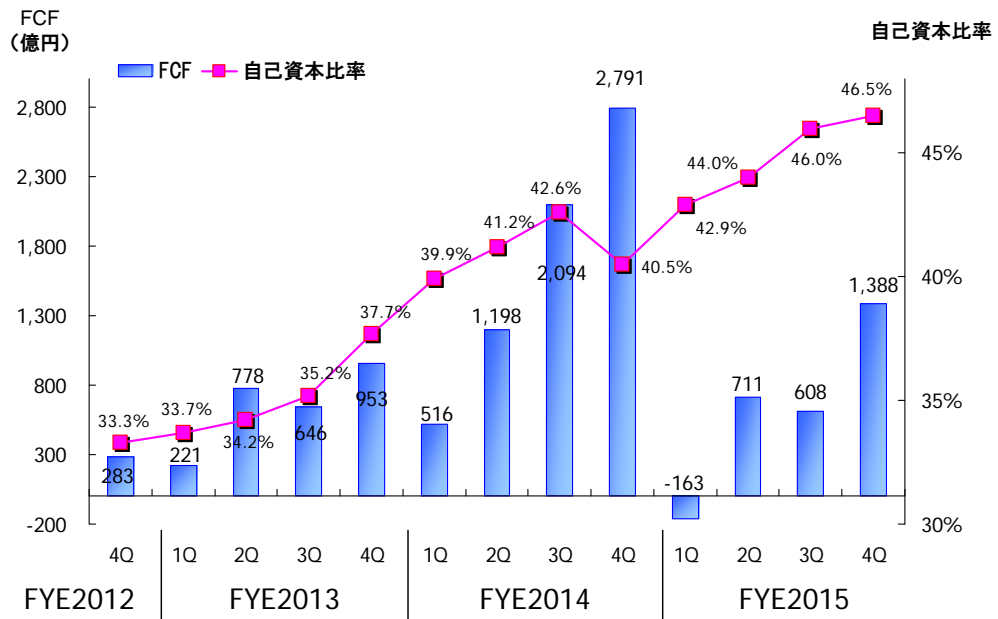
※ 生産台数にはトヨタ86を含む

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

33



FCF / 自己資本比率 推移

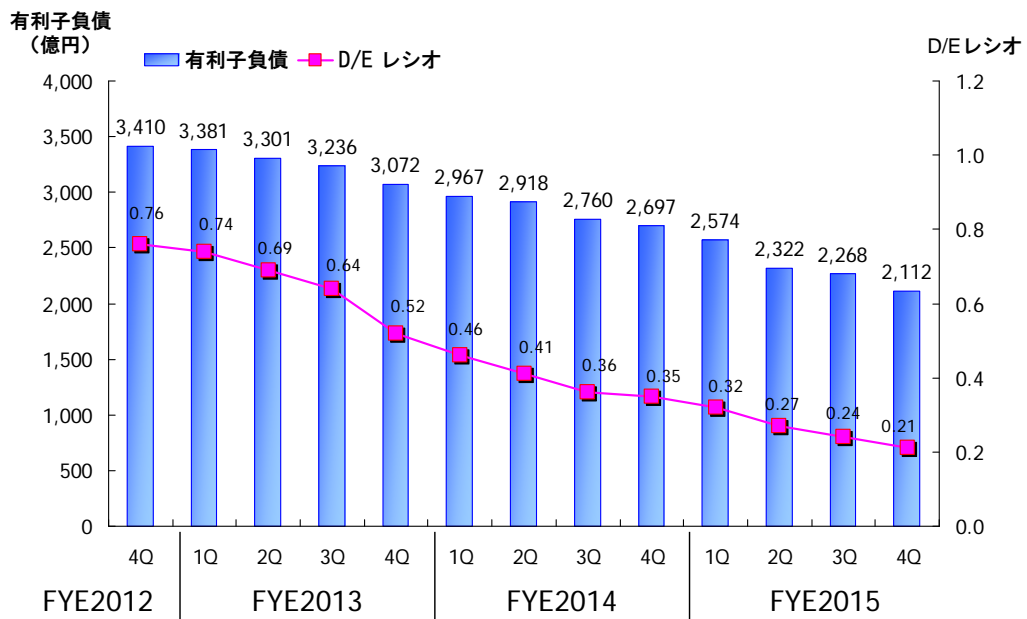


<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

34



有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

35



第4四半期 主な広報発表案件

(発表日)

生産・販売関係

- 2015年 暦年生産・販売計画について (1/16)
- スバルの米国、カナダ、豪州の2014年暦年販売が過去最高を達成(1/16)
- 水平対向エンジン生産累計1,500万台を達成(2/17)

商品関係

- インプレッサ／SUBARU XVが最高評価のJNCAP「先進安全プラス（ASV+）」に選定(1/26)
- SUBARU BRZを改良(2/10)

その他

- 2015年 SUBARUモータースポーツ活動計画について (1/9)
- ボーイング777X向け中央翼組立工場を建設(1/20)
- 訴訟（控訴審）の判決に関するお知らせ(1/29)
- 上告受理の申し立てに関するお知らせ(2/12)



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみに全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>



SUBARU

<http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>